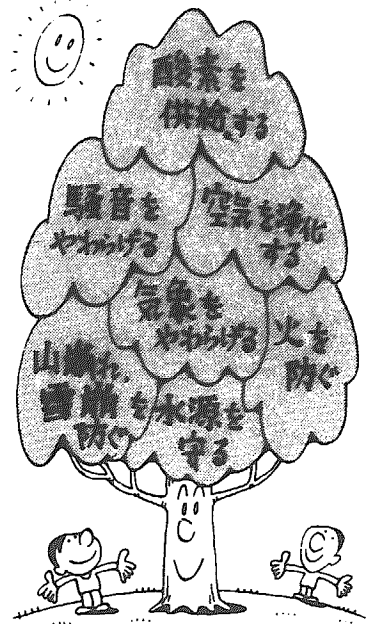


今こそ緑に恩返し

—調査員を募集しています—

緑の国勢調査(動植物分布調査)始まる



環境庁では、第3回「緑の国勢調査」の一環として今年から実施する「動植物分布調査」への参加者を募集しています。今回始められる動植物分布調査は、広く一般の自然愛好者にボランティアとして参加していただき、我が国の動植物の分布状況を把握しようとするものです。環境庁が選定した70種類の動植物についての情報が全国から集められ、動植物の分布図が作成されます。

調査対象種には、カブトムシ、タンポポ、ヒバリなどの身近な動植物やきれいな水にしか住めないサワガニやヤマメ、町に住んでいるドバトなどわたしたちの生活環境の状況を知る目安となる動植物が選ばれています。

調査参加を申し込んだかたには、調査参加証、調査票、地図、調査の手引書が送られます。参加者は、地図、手引書に従って、どこで、どの生きものを見つけたかを調査票に記入して環境庁に送付すればよいのです。

みんなでこの調査に参加して、わたしたちの生きもの地図を作りましょう。調査についてのパンフレットは、環境庁または新潟県自然保護課にありますので参加ご希望のかたはご連絡ください。

連絡先

環境庁自然保護局企画調整課自然環境調査室
〒100 東京都千代田区霞が関1-2-2
☎03-591-3228
新潟県生活環境部自然保護課
〒951 新潟市学校町通一番町602番地
☎0252-23-5511

小学校卓球大会は男子が大野小 女子は立仏小が優勝

1月22日(日)、総合体育館で第2回小学生卓球大会が行われ、下記のような結果となりました。

- 男子学校対抗戦
 - 1位…大野小A 2位…大野小B
 - 3位…板井小
- 女子学校対抗戦
 - 1位…立仏小A 2位…立仏小B
 - 3位…大野小A
- 男子個人戦
 - 1位…星 紀明(大野) 2位…木村 篤(大野)
 - 3位…解良洋一(立仏) 3位…遠藤貴之(立仏)
- ベスト8
 - 五十嵐鉄矢(大野) 渡辺太郎(立仏)
 - 成海 繁(大野) 内山 悟(大野)
- 女子
 - 1位…池乗直美(立仏) 2位…和田佳子(立仏)
 - 3位…斉藤里美(立仏) 3位…三富知子(立仏)
- ベスト8…和久井恭子(大野) 小湊由貴子(大野) 斉藤奈津江(立仏) 宮下奈津代(立仏)

町長の日記

「夢のハイポニカ農業について」
このところどこに行っても明るい話題が一つもない。加えて自然界までが、昭和五十六年豪雪に次ぐ豪雪をもたらしている。こうした中で本町産業課職員が表題のハイポニカ農業を提唱してきたのでこの内容を紹介し関係機関に協力をお願いし、実現に努力していきたい。

ハイポニカとは野沢重雄氏(東京大農学部卒・現大阪府協和株式会社社長)が冠した名称で、一般

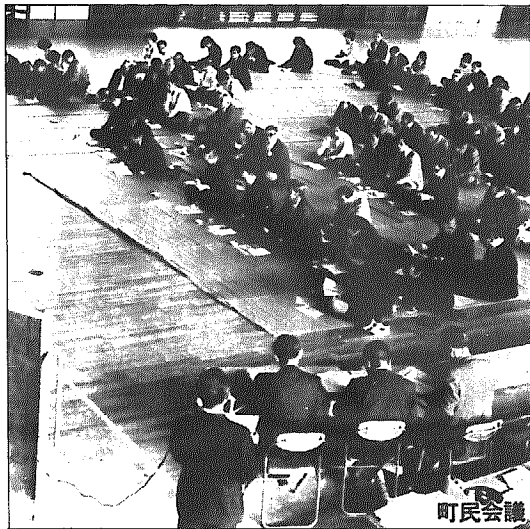
浅妻茂一郎

的には水気耕栽培と呼ばれている。ハウス栽培は土を利用する土耕栽培水(液肥)を利用する水耕栽培等があり、すぐれた技術で普及されているが、本町のように積雪寒冷地帯では生産コストが高く、導入が難しいとされている。

このハイポニカは水(液肥)に酸素を加え、太陽光エネルギーをうまく活用するので地域を選ばない。また、太陽光エネルギーの効率的な使い方野菜のもつ生命力が引き出され、従来の農法より生

産速度が三〜五倍になり、栄養のバランスの良い、たいへんおいしいトマトやキュウリ、メロンが多く生産できる。
強弱日照の地域でも活発な同化作用が行われ、健全に育つため農薬の使用はごくわずかですみ、健康野菜として高い信頼がえられる。
この農法は発明から普及まで日が浅く、全部で八百戸(本町の農家数とほぼ同じ)であるため、耳新しく聞こえるが、たいへん夢のある農法といえる。ハウス内の温度管理、物理的温情化と地元産業の特殊性を活かし、相対性原理に

基づいた趣向を凝らす画期的産業振興と期待するところである。
ついでには、この熱源は(株)東邦天燃ガスで採取され、(株)伊勢化学で利用されている地下水還元井戸(温度三五度)日量六万五千立方メートルを両社から協力願ひ、利用させていただければまさに一石二鳥である。
わたしが提唱している町独自(人の世話にならない)の田園都市構想の一つとなるのではないのでしょうか。現況を考えると社会的にも経済的にも困窮している今日、個人を大切にすることは何よりも



町民会議

育てよう青少年をすこやかに 黒埼町 町民会議に家庭の代表を

明るく豊かな社会づくりを目指して、各団体と密接な連絡をとりながら、その母胎となって健全育成活動を推進していくのが、黒埼町青年の育成町民会議です。
子供さんがおられなくとも、全世帯、町民みんなで青年の健全育成をすすめてみましょう。
問い合わせ…教育委員会 ☎7-5211

高校生、大学生が学生生活を終え、社会にはばたこうとする今、会社側が求める新入社員の内構えや社会人としてのあり方、現代社会の流れなどを聞いてみませんか。
社会人一年生となる子供を持つ家庭をはじめ、現在学生のいるご家庭から理解と認識を持っていただきたいと、高校生を持つ親の会では講演会を開きます。この機会にぜひご来場ください。
日時：三月二十五日(日) 午前十時〜十二時
場所：総合体育館武道館
講師：石 川 寛氏
主催：黒埼町高校生を持つ親の会
後援：黒埼町教育委員会
黒埼町青少年育成町民会議
参加費：無料
親子同伴で参加されてもかまいません。一人でも多くのかたの参加をお待ちしております。

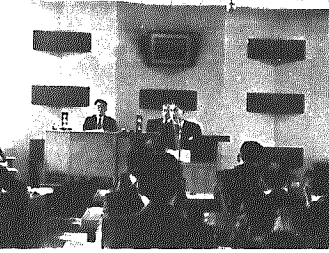
子供が高校生になったら一度は講演会くらい聞かなければ。
高校生を持つ親の会 講演会 三月二十五日

12月定例議会

前号で掲載できなかった議案と一般質問は左記のとおり。

- 黒埼町税条例の一部改正 (第80号)
個人の住民税に係る地方税法の臨時特例に関する法律の公布に伴い改正した。
- 黒埼町職員の給与に関する条例の一部改正 (第81号)
国家公務員に係る一般職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が施行されたので、当町職員の給与に関する条例も国家公務員に準じて改正した。
- 昭和58年度一般会計補正予算案

算(第6回) (第82号)
歳入歳出それぞれ2022万2千円を増額し、総額36億8963万4千円となった。
補正されたものは
●総務費 2022万円
●建設費
●議員 山田用水路脇道のガードレールだが、土地改良区



との協議、維持、管理などむずかしい問題があるというところだが、その後地元住民と話し合うとも言っていた。どうなったのか。
企画課長 土地改良区と農家組合長との話し合いでは、積極的な賛成を得られない。自治会長は付けてほしいが、除雪に支障がないようにしてほしいと言われていた。狭い道にガードレールがあると、歩行者が車にはさまれる危険性も考えられる。
児童、子供が通る山田保育所前に今年度七十七メートル試験的に設置した。支障がなければ、今後延長していきたい。

大切であるが、利己的な感情にとわれず、助け合いの精神で、自分も良くなり、他も良くなるという考え方に立って町造りにご協力をお願い申し上げます。
本年、年頭に当たり「町造り知恵出し合って明日を築こう」と考えこれもその一つといえるものとたいへんありがたく感激しています。
何事も困ったときは人のせいにするのではなく、その原因を探究しその努力を他人が評価するのだと思う。夢は実現できると確信するところであり、単に産業だけでなく、一日の暮らしの再発見と視点を変えてみたらどうだろうか。